

※方向性(分類)について
 A: 事業完了(平成27年度以前に事業が完了したもの)
 B: 事業継続(平成28年度以降も継続して事業を実施するもの)
 C: 事業規模拡大(Bに該当する事業のうち、予算額等を拡大して実施するもの)
 D: 事業縮小(Bに該当する事業のうち、予算額等を縮小して実施するもの)
 E: 事業実施予定(平成28年度に事業を開始する予定のもの)
 F: 検討中(事業未着手)

柱	項目	具体的な取組	事業名	事業概要	方向性分類	平成27年度実績	平成28年度計画	実施主体	
1 学生が学ぶ環境の充実 (リーディング施策)	(1) 「量から質へ」 単位互換科目 の魅力を向上	ア	京都だからこそ提供できる特色ある単位互換科目の開発	単位互換制度	他大学の科目を履修し、それを所属大学の単位として認定する。	B	「京都世界遺産PBL科目」を6大学が開講し、単位互換生34名を含む85名の受講者を得た。	「京都世界遺産PBL科目」授業運営が円滑に行われるための支援を行う。1科目当たり10名~20名程度の受講生を確保する。	大学コンソーシアム京都
		イ	加盟大学による、より特色のある魅力的な単位互換科目の提供		(再掲)リ1-(1)-ア	B	特色のある魅力的な科目「プラザ推奨科目」の定義や、「プラザ推奨科目」を提供する大学への補助金の支給条件等の見直しを行った。新たな定義・補助金制度のもと、各大学へ「プラザ推奨科目」の提供依頼を行った。(新たな定義・補助金制度については、平成28年度開講分より適用することとした。)	平成27年度に変更した「プラザ推奨科目」制度について、そのガイドラインや補助金額、補助金支給条件が適切であるか検証し、改善を行う。	大学コンソーシアム京都
		ウ	単位互換科目受講後の評価システムの検討		(再掲)リ1-(1)-ア	B	平成26年度実施のアンケートを継続して実施した。単位互換科目の量から質への転換のため学則に基づく科目提供、7項目の評価指標によるガイドラインを設定した。	平成27年度に実施した受講アンケートを分析し提供科目の評価・点検を行う。平成27年度設定したガイドラインでの科目への受講アンケートを行い検証する。	大学コンソーシアム京都
		エ	学生などの評価に基づく単位互換科目の改善の仕組みづくり		(再掲)リ1-(1)-ア	B	学生アンケートの集計結果を各大学へフィードバックを行った。	引き続き、学生アンケートの集計結果を各大学へフィードバックを行う。	大学コンソーシアム京都
	(2) 「景観と機能の 調和」 大学施設整備 の支援	ア	市有地活用や民有地情報の提供による大学施設の展開・立地の推進	大学施設整備支援事業	大学からの施設整備等についての相談を受け、大学が行う施設整備に技術的な助言等を行うとともに、施設整備に必要な各種手続き等が円滑に進むよう関係各課と調整を行うなど、施設整備の支援・誘導を行う。	B	各大学の相談に応じて市有財産や国有地等の土地情報等を提供した。	引き続き、各大学の相談に応じて市有財産や国有地等の土地情報等を提供する。	総合企画局
		イ	ワンストップ窓口として、施設構想の段階から整備終了までの一貫した迅速な支援		(再掲)リ1-(2)-ア	B	大学の施設整備の計画に関し、技術的な助言や各種手続きが円滑に進むよう関係者と調整した。	引き続き、大学の施設整備の計画に関し、技術的な助言や各種手続きが円滑に進むよう関係者と調整する。	総合企画局
		ウ	大学による各種手続きが更に円滑に進むよう、施設整備に関する法令の概要や制度の運用方針などを取りまとめた「京都市大学施設整備支援・誘導のためのガイドプラン」の改訂		(再掲)リ1-(2)-ア	A	・「京都市大学施設整備支援・誘導のためのガイドプラン」を補足するリーフレットを作成した。 ・「京都市大学施設整備支援・誘導に関する取扱要綱」を改正した。	—	総合企画局
	①	学生の安心・安全に対する意識を高めるための啓発	安心・安全な学生生活を送るためのハンドブックの作成		京都で学ぶ大学生が安心・安全な学生生活を送れるよう、京都府警察との連携のもと、防災、防犯、消費生活、自転車利用マナーなど、日常生活や災害時に気を付けるべきポイントを幅広く掲載したハンドブックを作成する。	A	—	—	総合企画局
			「京都市わかもの就職支援センター」によるブラックバイト根絶に向けた「働くルールを知るセミナー」の開催		大学生がブラックバイトの被害に遭わないよう、京都市わかもの就職支援センターや大学へ出向いてワークショップ形式で事例を基に労働法制の基礎知識等を習得できるセミナーを開催する。	E	—	京都労働局と連携して、5月にわかもの就職支援センターでセミナー等を開催済み。今後、大学へ出向いてセミナー等を開催予定。また、ブラックバイト対策協議会(構成:京都労働局、京都市、京都府)で学生アルバイトの実態に係るアンケート調査を実施中(6月~7月)。	産業観光局

柱	項目	具体的な取組	事業名	事業概要	方向性分類	平成27年度実績	平成28年度計画	実施主体
1 学生が学ぶ環境の充実 (推進施策)	(1) 「安心して安全に学べる京都」の充実	② 災害時における学生の安全の向上と学生の力を活用した支援活動の展開	市内大規模事業所における帰宅困難者対策の推進	「京都市事業所帰宅困難者対策指針」に基づき、大学を含む市内大規模事業所における大規模災害に備えた安全対策や非常用物資の備蓄等の帰宅困難者対策を推進する。	B	大学を含む市内大規模事業所に対する指導を継続するとともに、研修会を開催し、事業所における帰宅困難者対策の充実を図った。 研修会に参加した大学等学校施設 19事業所 (参加対象大学等学校施設 26事業所)	引き続き、大学を含む市内大規模事業所に対する指導を継続するとともに、研修会を開催し、事業所における帰宅困難者対策の充実を図る。	消防局
		③ 学生が犯罪・交通被害・消費者トラブルに遭わない環境づくり	花と緑いっぱいのもちづくり推進	上下水道局が実施するイベントや、「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」との連携による各種啓発活動などにおいて、各地域に、花と緑を増やすことにより、防犯力の向上につなげる。	B	市民しんぶん(平成28年3月15日号)の挟み込みチラシとして、上下水道局広報紙「京(みやこ)の水だより」を各家庭に配布し、各家庭や地域ぐるみで花を育てていただくことにより、まちが美しくなり、安心・安全なまちづくりにも役立つことを紹介した。	上下水道局が実施するイベントや、「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」との連携による各種啓発活動などにおいて、花の苗ポットや花の種を配布する。	上下水道局
		④ 障害のある学生など多くの人が学ぶことのできる環境づくり	みやこユニバーサルデザインアドバイザーの派遣	ユニバーサルデザインの考え方を採り入れ、実践しようとする各種団体、学校、企業等に対し、必要な助言や支援を行うことにより、様々な分野や地域における主体的なユニバーサルデザインの取組を促進する。	B	アドバイザー派遣(通年) 4回実施	引き続き実施する。	保健福祉局
			障害者移動支援事業	単独で外出が困難な障害のある学生への通学支援を行う。	B	社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等の社会参加のための外出(学校教育法第1条に規定する大学(国、地方公共団体又は学校法人が設置する大学又は短期大学)又は、同法第124条に規定する専修学校(専門課程及び一般課程に限る。)等)に対し、移動中の支援等を行う移動支援事業を実施した。 ○支給決定者数(平成28年3月末時点) 移動支援(身体介護を伴うもの) 2,838名 移動支援(身体介護を伴わないもの) 1,964名 ○実利用者数 3,757名	引き続き、社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等の社会参加のための外出(学校教育法第1条に規定する大学(国、地方公共団体又は学校法人が設置する大学又は短期大学)又は、同法第124条に規定する専修学校(専門課程及び一般課程に限る。)への通学を含む。)等)に対し、移動中の支援等を行う移動支援事業を実施する。	保健福祉局
	(2) 学生が京都とふれあい、協働する環境づくり	① 学生が京都の魅力にふれる機会の充実	Student Days	元離宮二条城、京都市美術館、無隣庵など京都の文化施設等へ学生を無料で招待する「Student Days(学生証の提示で京都の文化施設へ無料招待)」を実施する。	A	・元離宮二条城、京都市美術館、無隣庵、動物園などにおいて、京都学生祭典本祭を含む4日間(10月9日(金)～12日(月・祝))に、また、大谷大学博物館においては10月10日(土)～16日(金)に、「Student Days」として京都の文化施設への学生の無料招待を実施した。(合計2,145名) ・京都府や京都市内大学の関連施設等の対象施設を新たに追加し、24施設で実施した。	平成28年度から「キャンパス文化パートナーズ制度」に統合した。	総合企画局
			キャンパス文化パートナーズ制度	市域の大学と連携し、学生が京都の多彩な文化に触れ、体験する機会を提供するとともに、そのための経済的な負担の軽減を図る。	B	主要施設(美術館、動物園、二条城、無隣庵)利用者数:6,793名	引き続き実施する。	文化市民局
		② 学生の意見吸収システムの構築	京都・和の文化体験の日	日本文化の真髄である京都の文化芸術を次の世代にしっかりと伝えていくため、大学生をはじめとする若者が「和の文化」に触れ、体験し、伝統産業に親しむ機会を提供する。	B	京都の和の文化を紹介する初心者向けの情報冊子を制作し、市内を中心に、大学・高校や文化施設、カフェ、書店等に配布。また、12月には解説付きの邦楽公演と和楽器体験のできるワークショップを実施した。	引き続き、和の文化のジャンルからテーマを1つ決め、情報冊子制作とイベントを実施する。	文化市民局
			③ 学生が地域の一員として暮らせる環境づくり	きょうと地域力アップ貢献事業者等表彰	自治会・町内会等を中心とする多様な主体の連携による地域コミュニティ活性化への取組を一層推進することを目的に、自治会・町内会等の地域団体が主体となって取り組む地域活動に関して、これと連携・協力し、地域力の向上に貢献している事業者、NPO法人、大学等を顕彰し、自治会・町内会等を中心とする多様な主体の連携による地域コミュニティ活性化への取組を一層推進する。	B	表彰対象者を募集し、表彰式を実施した。	引き続き実施する。

柱	項目	具体的な取組	事業名	事業概要	方向性 分類	平成27年度実績	平成28年度計画	実施主体	
	(3)	大学経営・運営の支援	① 京都FD・SDプログラムの充実	地域内大学連携によるFDの包括研究と共通プログラム開発・組織的運用システムの確立	大学コンソーシアム京都が実施する「FDフォーラム」や「FDセミナー」などイベント型、交流型事業を土台としながら、大学間連携によって具体的に内実のある、また京都で学べることを活かした教育を実施できるFDプログラムの開発・実施を推進する。	B	下記のとおり、FD・SDに関わるプログラムを実施。 ◆京都FD執行部塾 平成27年6月20日 参加者数:31名 ◆新任教員FD合同研修 平成27年9月と翌3月、計2回実施 参加者数:延べ41名 ◆京都FDe塾 大学教育パワーアップセミナー 平成27年11月と12月、計2回実施 参加者数:延べ29名 ◆京都FDe塾 シンポジウム 平成28年1月23日 参加者数70名 ◆第21回FDフォーラム 平成28年3月5日～6日 参加者数:756名 ◆大学職員共同研修 平成27年3月～9月、計8回実施 参加者数:延べ78名 ◆SDワークショップ 平成27年11月～12月、計3回実施 参加者数:延べ37名 ◆第13回SDフォーラム 平成27年10月18日 参加者数:143名 ◆SDゼミナール 平成27年6月～9月 計8回(成果報告会1回を含む) 受講生数:25名	・「FDフォーラム」は加盟大学の情報発信を重視した運営や参加者間の交流、取組の振り返りを行い、分科会の双方向的な運営について、平成28年度も引き続き重視していく。また、階層別FD研修プログラムとして、学長・副学長等の執行部向けの「京都FD執行部塾」、FD担当者向けの「FDe塾」「大学教育パワーアップセミナー」、新任教員向けの「新任教員FD合同研修」を実施する。 ・SD事業にあっては、大学職員共同研修、SDワークショップ、SDフォーラムを実施する。また、平成27年度から開始した「SDゼミナール」についても、昨年度と同様に計7回の講義と公開プレゼンテーションを柱とした企画を実施する。スケールメリットを生かして、スキルアップ、知識の習得および人的交流も積極的に図っていく。	大学コンソーシアム京都
			② 大学への寄付の増進	大学への寄付の増進	平成20年度税制改正に基づき、国立大学法人、公立大学法人、学校法人等に対する寄付金を京都市の個人市民税の寄付金控除の対象となる寄付金として指定(※)する仕組みを導入することにより、京都の大学に対する寄付の増進を図り、民間からの大学支援を促進するもの。 ※ 寄付金を受領する団体からの申請に基づき、所得税の寄付金控除の対象となる寄付金のうち、市民の福祉の増進に寄与する寄付金であると認められるものを指定。	B	平成27年度中の実績はないが、平成24年度までに市内の大学を有する学校法人等(17法人)を申請に基づき認定している。	引き続き実施する。	行財政局
			③ 環境配慮型経営に取り組む大学への支援	大学の自立分散型の再生可能エネルギー設備の導入支援	持続可能な低炭素・エネルギー社会の実現に向けた取組を進めることが、時代の要請に応え、環境に配慮した大学としての価値を高めるものであるとの認識のもと、大学で使用される電気・ガスなどのエネルギーの低減を図る省エネルギーや自立分散型の再生可能エネルギー設備導入に積極的に取り組む大学を支援する。	B	・事業者排出量削減計画書制度の特定事業者(大規模エネルギー使用する大学を含む)向けの省エネ対策セミナーの実施(7月) ・訪問調査による省エネ取組の助言(3大学) ・民生業務部門全般への「省エネ・節電対策」の普及を図る「BEMS普及コンソーシアム京都」において、NPO・有識者・京都府及び各種関係団体を会員として、エネルギー使用量の削減に向けた調査・研究に取り組んだ。また、エネルギー専門家派遣事業として、3件京都市内の大学に訪問した。	・事業者排出量削減計画書制度の特定事業者(大規模エネルギー使用する大学を含む)向けの省エネ対策セミナーの実施(2月予定) ・民生業務部門全般への「省エネ・節電対策」の普及を図る「BEMS普及コンソーシアム京都」において、NPO・有識者・京都府及び各種関係団体を会員として、エネルギー使用量の削減に向けた調査・研究に取り組む。	環境政策局
	(4)	多様な大学・学生活動拠点の活用・設置の促進	① キャンパスプラザ京都の利用促進	大学のまち交流センター管理運営	大学における学術研究の成果、その他の知的資産を活用することにより、豊かな地域社会の形成に資するため、大学相互の間及び大学と産業界、地域社会等との間の連携・交流を促進する活動等に供する。	B	・第5演習室の運用を開始した。 ・AV機器の全面更新により最新鋭の設備を導入した。	ガスヒートポンプ式空調機器(GHP)の改修工事を実施予定。	総合企画局
			② 大学サテライトなどの設置支援		(再掲)リ1-(2)-ア	B	各大学の相談に応じて市有財産や国有地等の土地情報等を提供した。	引き続き、各大学の相談に応じて市有財産や国有地等の土地情報等を提供する。	総合企画局

柱	項目	具体的な取組	事業名	事業概要	方向性分類	平成27年度実績	平成28年度計画	実施主体		
	(1)	「京都を知ろう」留学生誘致に向けた海外への広報	ア	留学生誘致プロモーション映像の制作	世界中の若者に京都を身近に感じていただくとともに、「京都の大学で学びたい」、「京都で学生生活を送りたい」という思いを持っていただくことで、京都への留学を促進するため、留学生誘致プロモーション映像「Why Choose Kyoto?」を制作する。	A	—	—	総合企画局	
			イ	海外での京都留学フェア開催	留学生スタディ京都ネットワークが「京都留学フェア」を海外で開催し、学生向けのセミナー・個別相談を行うほか、現地の教育機関等の日本留学関係者との交流会を開催する。	C	京都市から留学生スタディ京都ネットワークに事業を移管。台湾(台北)で「京都留学フェア」を実施し、セミナー・個別相談を行うほか、現地の教育関係者との意見交換会を開催した。	留学生スタディ京都ネットワークにおいて台湾(台北)、タイ(バンコク)で「京都留学フェア」を実施予定。	総合企画局 大学コンソーシアム京都	
				国内外留学フェアへの京都ブース出展	例年開催されている日本学生支援機構の「日本留学フェア」等に京都ブースを出展し、留学コーディネーターが同ブースにおいて大学・日本語学校、留学生支援施策など、京都の留学情報を包括的に発信するとともに、現地の教育機関や留学関連事業者に働きかける。	D	日本学生支援機構の「日本留学フェア」などに京都ブースを出展し、大学・日本語学校、留学生支援施策など、京都の留学情報を包括的に発信した(東京、韓国、中国、ベトナム、インドネシア、タイに出展)。	引き続き、日本学生支援機構の「日本留学フェア」などに京都ブースを出展し、大学・日本語学校、留学生支援施策など、京都の留学情報を包括的に発信する(中国、ベトナムに出展予定)。	総合企画局 大学コンソーシアム京都	
			ウ	「京都留学サイト」(4言語)の運営	総合ポータルサイトの運営	大学・日本語学校などの学校情報、住宅・就職を含む生活情報など、京都留学に関する総合ポータルサイトを設置・運営する。	C	市及び府がそれぞれ運営していた海外向け留学サイトを統合し、大学・日本語学校などの学校情報、住宅・就職を含む生活情報など、京都留学に関する総合ポータルサイト「STUDY KYOTO」を平成27年10月に開設した。	京都留学総合ポータルサイト「STUDY KYOTO」について、ソーシャルメディア活用を含めたアクセス対策を行い、訪問者数の増加を図るとともに、掲載言語の拡大、特集記事掲載などを行いサイトの内容充実を図る。	総合企画局 大学コンソーシアム京都
			エ	市の友好交流都市(姉妹都市、パートナーシティ)や関係機関などとの連携による情報発信	—	京都で学ぶ留学生を誘致するため、本市友好交流都市(姉妹都市、パートナーシティ等)や(一財)自治体交流協会などと連携し、「大学のまち・学生のまち」としての魅力発信する。	B	本市友好交流都市(姉妹都市、パートナーシティ等)や(一財)自治体交流協会などと連携し、留学生誘致に向けた「大学のまち・学生のまち」としての魅力発信した。	引き続き、本市友好交流都市(姉妹都市、パートナーシティ等)や(一財)自治体交流協会などと連携し、留学生誘致に向けた「大学のまち・学生のまち」としての魅力発信する。	総合企画局
	(2)	「京都に触れよう」大学のまち京都の魅力を感じられる短期留学受入の実施	ア	大学コンソーシアム京都加盟校の特色ある講義と、伝統文化(禅、生け花、お茶など)、伝統産業、先端産業などの京都体験とを組み合わせた短期留学受入プログラムの開発・実施	「大学のまち京都」の魅力を感じられる短期留学受入事業	日本への留学に関心のある海外の学生が実際に京都を訪れる機会を提供し、多様な大学による特色ある講義や伝統文化、伝統産業、先端産業などの京都体験を通じて京都の奥深い魅力を知ってもらうことで、京都の大学への留学につなげる。	B	「大学のまち京都」の魅力を感じられる短期留学受入プログラムを夏季及び冬季の2回実施した。 【夏季プログラム】 ・日時:平成27年7月26日～8月8日 ・参加者:7箇国11名 【冬季プログラム】 ・日時:平成28年1月17日～1月30日 ・参加者:7箇国15名	短期留学受入プログラムを夏季:平成28年7月、冬季:平成29年1月に実施する。	総合企画局 大学コンソーシアム京都
			イ	大学コンソーシアム京都が連携している海外の大学コンソーシアムや海外の大学の日本研究センターなどを通じた短期留学受入プログラムの広報	(再掲)リ2-(2)-ア	—	B	・日本研究等を持った大学等へのEメール及びパンフレット郵送 ・台湾(台北)での京都留学セミナー ・各種留学関連イベントによる情報発信 ・フェイスブックによる広告掲載 ・京都市海外情報拠点等、関係機関を通じた情報発信 など、多様な媒体による情報発信を行った。	引き続き、昨年度実施した広報を継続するとともに、夏季・冬季の参加者からの口コミによる発信や、写真等を活用したウェブサイトのリニューアルを行い、広報の充実を図る。	総合企画局 大学コンソーシアム京都
			ア	大学コンソーシアム京都における海外の協定大学コンソーシアムとの連携による留学プログラムの実施	多面的な国際交流の充実と高等教育の質向上に向けた国際連携プログラム開発	単独では留学プログラムの開発が困難な中小規模の大学の学生にも、多様なレベルで留学の機会が確保できるよう、(公財)大学コンソーシアム京都が提携を締結しているビクトリア州のコンソーシアム等と連携し、留学派遣プログラムを実施する。	D	単位互換制度を活用し、豪州メルボルン、米国ボストンへの留学派遣プログラムを実施した。	引き続き、単位互換制度を活用し、豪州メルボルンへの留学派遣プログラムを実施する。(米国ボストンプログラム(昭和女子大)については、集客が難しい状況を踏まえ事業を休止する。)	総合企画局 大学コンソーシアム京都
	イ	「海外留学派遣プログラム開発支援事業」の実施	海外留学派遣プログラム開発支援事業	京都市域の活性化に役立つ留学プログラムを開発する大学等に対して経費を助成する。	A	11件の申請があり、10件採択した。	留学生誘致や日本人学生の海外留学派遣など、大学及び学生の国際化を促進する「京(みやこ)グローバル大学」促進事業を活用していくこととするため、28年度以降の新規募集は行わない。	総合企画局 大学コンソーシアム京都		

柱	項目	具体的な取組	事業名	事業概要	方向性分類	平成27年度実績	平成28年度計画	実施主体		
	(3)	「世界を見よう」京都で学ぶ学生の海外留学派遣の強化	ウ	大学の留学プログラム実施に係る支援策の検討	「京(みやこ)グローバル大学」促進事業	「大学のまち・学生のまち京都」を世界に発信し、留学生誘致をはじめ、日本人学生の海外留学派遣、海外大学との提携など、大学及び学生の国際化を推進するため、各大学における取組を支援する。	E	—	平成28年6月17日から平成28年8月22日までを期限として公募を開始。選考委員会による選考を行ったうえで、6件程度の事業を採択し、事業を推進する。	総合企画局
					「英語で京都をプレゼンテーション」	大学コンソーシアム京都加盟校の学生のうち、海外留学を検討中又は留学を予定している学生や英語で日本や京都の魅力を発信することに興味がある学生を対象に、英語で京都や日本の魅力を発表できるよう研修事業を実施し、英語によるプレゼンテーション能力の向上、日本文化や京都の奥深い魅力を知り、理解する機会を提供する。	E	—	以下の概要にて実施する。 【開催日程】平成28年5月21日～7月2日(全6回) 【会場】キャンパスプラザ京都 【募集定員】最大20名 【内容】日本概論、京都概論、伝統文化実技(茶道・華道)、最終プレゼンテーション等	大学コンソーシアム京都
	(1)	留学生支援機能の強化		留学生スタディ京都ネットワーク	大学、日本語学校、専修学校、経済界、京都府とともに、海外から京都の大学等への留学をオール京都で促進するための組織を運営する。	C	海外からの留学をオール京都で促進するために留学生スタディ京都ネットワークを平成27年5月に設立し、留学コーディネータ2名(平成27年11月～3名)を配置し、京都への留学及び留学中の相談・問合せにワンストップで対応するとともに、海外の大学、日本語学校とネットワークを築き、情報発信を強化した。(平成27年度末で86団体が加盟)。	引き続き、ネットワークの活動を進める。なお、平成27年度に開催した就業支援と住環境支援のワーキンググループでの議論等を踏まえ、新たに留学生を対象とした有給インターンシップの実施と、多言語による留学生向け住宅情報発信サイトの構築を行う。	総合企画局 大学コンソーシアム京都	
				(再掲)リ2-(1)-ウ	C	市及び府がそれぞれ運営していた海外向け留学サイトを統合し、大学・日本語学校などの学校情報、住宅・就職を含む生活情報など、京都留学に関する総合ポータルサイト「STUDY KYOTO」を平成27年10月に開設した。	京都留学総合ポータルサイト「STUDY KYOTO」について、ソーシャルメディア活用を含めたアクセス対策を行い訪問者数の増加を図るとともに、掲載言語の拡大、特集記事掲載などを行いサイトの内容充実を図る。	総合企画局 大学コンソーシアム京都		
				(再掲)リ2-(3)-ウ	E	—	平成28年6月17日から平成28年8月22日までを期限として公募を開始。選考委員会による選考を行ったうえで、6件程度の事業を採択し、事業を推進する。	総合企画局		
			① 住宅関連企業による留学生向け住宅斡旋の促進	「外国人のためのお部屋情報 HOUSEnavi」の運営	敷金・礼金がないなど留学生が借りやすい住宅情報を中心に掲載した「外国人のためのお部屋情報 HOUSEnavi」を4言語(日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語)で運営。(運営元:(公財)京都市国際交流協会)	B	日本賃貸住宅管理協会京都府支部(日管協)と共同で「外国人のためのお部屋情報 HOUSEnavi」を運営した。	引き続き、日本賃貸住宅管理協会京都府支部(日管協)と共同で「外国人のためのお部屋情報 HOUSEnavi」を運営する。	総合企画局	
				京都市空き家活用・流通支援等補助金	現に居住者又は利用者がいない空き家を、留学生又は外国人研究者の住まい等として活用する場合に、改修工事や家財の撤去にかかる費用の一部を補助する。	B	補助対象者の拡大及び「特定目的活用支援タイプ」の補助対象建築物の要件を緩和など、より利用しやすい制度とするための制度の見直しを行った。	引き続き、補助申請を募集する。(4月6日から申請受付を開始)	都市計画局	
				京都市、京都橘大学及び醍醐中山団地庁内連合会の地域連携事業	京都橘大学が、醍醐中山市営住宅の空き住戸を活用し、そこに学生(留学生を含む。)がルームシェア形式居住することにより、住民として団地の活動に参加するとともに、大学が、団地内に地域と連携する拠点となる「地域連携センター」の分室を設置・運営し、子育て世帯や高齢者の支援などを行うことで、団地の活性化を目指す。	B	・大学が、団地内に「国際シェアルーム」及び地域と連携する拠点となる「地域連携センター」の分室を設置した。(4月) ・学生団体による団地自治会事業「子ども会」、「敬老会」への協力や、団地内住民を対象とした健康相談事業の開催など、子育て世帯や高齢者向けの支援等を行った。	学生ボランティア団体による子育て世帯の支援や、団地内住民を対象とした健康相談事業の開催などの高齢者の支援等を行う。	都市計画局	
				② 留学生向け住宅の提供支援	京都市市営住宅(改良住宅)への留学生入居募集	世帯留学生向けに市営住宅を提供する。	B	世帯留学生の住居として改良住宅の空き家整備を実施、大学を通じて入居者を募集した。	世帯留学生の住居として改良住宅の空き家整備を実施、大学を通じて入居者を募集する。	都市計画局

柱	項目	具体的な取組	事業名	事業概要	方向性分類	平成27年度実績	平成28年度計画	実施主体	
2 大学・学生の国際化 (推進施策)	(2) 留学生などに住み良いまちづくり		京都地域留学生住宅保証制度	連帯保証人を見つけることができない京都地域の留学生が「連帯保証人不要」な形で住宅確保ができるよう、京都地域留学生住宅支援機構加盟大学が、制度に賛同していただける協力事業者(仲介業者・管理業者・家主)と協力して留学生を支援する制度	B	新規利用者数43名	引き続き実施する。	大学コンソーシアム京都	
			大学施設整備支援事業	土地の紹介や土地利用に関する相談を通じた支援を行う。	B	各大学の相談に応じて市有財産や国有地等の土地情報等を提供した。	引き続き、各大学の相談に応じて市有財産や国有地等の土地情報等を提供する。	総合企画局	
		③ 留学生などの生活支援	京都市生活ガイドの配布	初めて京都で生活する外国人が安心して暮らせるように、生活上の留意点を説明した冊子(英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語)を配布する。	B	生活上の留意点を説明した冊子(英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語)を配布するとともに、(公財)京都市国際交流協会のホームページ上に公開した。	引き続き、初めて京都で生活する外国人が安心して暮らせるように、生活上の留意点を説明した京都市生活ガイド(英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語)を(公財)京都市国際交流協会のホームページ上に公開する。	総合企画局	
			外国人留学生国民健康保険料補助事業	留学生の健康を守るため、市内在住の私費留学生を対象に、国民健康保険料の一部を補助する。(実施主体:(公財)京都市国際交流協会)	D	市内在住の私費留学生を対象に、国民健康保険料の一部を補助した。	引き続き、市内在住の私費留学生を対象に、国民健康保険料の一部を補助する。	総合企画局	
			来日直後の留学生を支援する「ウェルカム・パッケージ」	初めて来日する留学生の生活上の不安をできる限り取り除き、勉学に専心できる環境を整えるとともに、日本人学生等市民との交流を育む契機とするため、来日直後の留学生に必要な行政手続きや生活ルール等に係る情報提供やサポートを行う。	E	—	4月に市職員によるガイダンスを実施(3回)。秋の入学時期に向けて、来日直後の留学生に必要な情報を精査し、区役所手続き等、新入留学生をサポートするための取組を進める。	総合企画局	
			④ 留学生の交流機会の充実	外国人留学生交流等補助事業	留学生を含む市民団体などが主体となって行う留学生との交流活動に対して補助する。	B	留学生の生活を恒常的に支援する事業や、留学生と市民との交流及び相互理解を促進する事業に対し、補助金を交付した。(27年度交付先) ・(公財)京都「国際学生の家」 ・アジア・アフリカとびっきり映画祭実行委員会 ・ユリイカ百貨店	引き続き、留学生の生活を恒常的に支援する事業や、留学生と市民との交流及び相互理解を促進する事業に対し、補助金を交付する。	総合企画局
		京都留学生同窓会		京都で学ぶ留学生やOB・OG、留学生を支援したい日本人の交流機会を提供するため、フェイスブックを活用した情報発信事業を実施する。(公財)京都市国際交流協会に業務委託)	D	フェイスブックを活用した日本語・英語による情報発信を実施した。	引き続き、フェイスブックを活用した日本語・英語による情報発信を実施する。	総合企画局	
		⑤ 京都を好きになってもらう取組の充実		留学生優待プログラム	市内文化施設等への入場優待やイベントへの無料招待を実施する。(公財)京都市国際交流協会に業務委託)	D	市内文化施設等への入場優待やイベントへの無料招待を実施した。	引き続き、市内文化施設等への入場優待やイベントへの無料招待を実施する。	総合企画局
		(3) 留学生の進路・社会進出の支援		外国人留学生のための就職ガイダンス&ジョブフェア	日本での就職を目指す留学生に対し、就職活動に関する情報の提供や採用担当者と直接面談ができる説明会を実施する。(実施主体:(公財)京都市国際交流協会)	B	留学生向けのキャリアガイダンス&ジョブフェアを開催した。	引き続き、留学生向けのキャリアガイダンス&ジョブフェアを開催する。	総合企画局
				留学生いきいき人材バンク(kokoka留学生ねっと)、World Stageの運営	留学生を対象に、社会活動などの情報を掲載するウェブサイト運営する。(実施主体:(公財)京都市国際交流協会)	B	留学生を対象に、社会活動などの情報を掲載するウェブサイト運営した。	引き続き、留学生を対象に、社会活動などの情報を掲載するウェブサイト運営する。	総合企画局
	(4) 大学職員の国際化の支援		職員向け英語スキルアップ研修	大学コンソーシアム京都加盟校の職員を対象に、英語力向上のための研修を行う。	B	大学教職員向けに英語研修を実施した。(計6回)	参加者からのアンケート等によるニーズを反映し、新規研修「Business Writing」を加え、引き続き実施する(計6回)。	大学コンソーシアム京都	
	(5) 海外との学術教育研究の交流促進				B	米国州立大学連合が主催する「全米日本研究セミナー」参加者と京都の大学との交流会(交換留学の可能性等)を実施した。	海外の学校関係者等が京都を訪問する機会や、留学フェアで他国の学校を訪問する機会などをいかして、大学連携組織間の交流、大学間の交流を促進する。	大学コンソーシアム京都	

柱	項目	具体的な取組	事業名	事業概要	方向性分類	平成27年度実績	平成28年度計画	実施主体		
3	(1)	「未来の京都を担う」京都企業と連携した人材育成	ア	京都で学ぶ学生や留学生からなる学生チームと京都企業との連携プロジェクトの実施	京都企業と連携した次代の京都を担う人材の育成事業	大学や国籍の垣根を超えた多様な学生・留学生がチームで、京都企業と連携して課題に取り組むPBLプログラムを実施する。	B	留学生を含む学生のチームが、京都企業と連携したPBL(Project-Based Learning:課題解決型学習)により、企業の提示する課題の解決や学生から企業への提案などに取り組んだ。 (27年度実績値) ・プロジェクト数:10 ・参加者:17大学, 62名(うち, 留学生12名)	留学生を含む学生のチームが、京都企業と連携したPBL(Project-Based Learning:課題解決型学習)により、企業の提示する課題の解決や学生から企業への提案などに取り組む。	総合企画局
			イ	プロジェクトを通じた、留学生を含む学生の職業観の育成と京都企業への就職の意識づけ	(再掲)リ3-(1)-ア		B	留学生を含む学生のチームが、京都企業と連携したPBL(Project-Based Learning:課題解決型学習)により、企業の提示する課題の解決や学生から企業への提案などに取り組んだ。 (27年度実績値) ・プロジェクト数:10 ・参加者:17大学, 62名(うち, 留学生12名)	留学生を含む学生のチームが、京都企業と連携したPBL(Project-Based Learning:課題解決型学習)により、企業の提示する課題の解決や学生から企業への提案などに取り組む。	総合企画局
	(2)	「京都で働く」京都企業と学生のマッチングの促進	ア	「京都企業・就業情報データベース(京のまち企業訪問)」の充実	・京都企業・就業情報データベースシステムの運営 ・京都企業魅力発信「京のまち企業訪問」運営事業	学生をはじめとする求職者等に京都企業の魅力を広く知ってもらい、京都の企業への就職に結びつけるため、企業情報データベースを作成し、インターネット等を活用して情報発信を行う。	B	京都企業魅力発信ウェブサイト「京まち企業訪問」での掲載企業数は、337社増加し、合計3,607社となった。	平成28年度からは「京都中小企業担い手確保・定着支援事業」の中で、引き続き、新規掲載企業の開拓や掲載記事の更新等により、掲載内容の充実を図るとともに、より見やすく利用しやすいウェブサイトとなるよう改修を行う。	産業観光局
			イ	「京都企業・就業情報データベース(京のまち企業訪問)」掲載企業による合同企業説明会の実施	・京都企業・就業情報データベースシステムの運営 ・京都企業魅力発信「京のまち企業訪問」運営事業	「京都企業・就業情報データベース(京のまち企業訪問)」登録企業による合同企業説明会や個別企業説明会、業界研究会等を実施する。	B	・合同企業説明会を実施(2回) ・個別企業説明会を実施(37回) ・マッチング交流会を実施(3回) ・業界研究会を実施(1回)	平成28年度からは「京都中小企業担い手確保・定着支援事業」の中で、交流事業や合同企業説明会等の取組を進める。	産業観光局
				「京都市わかもの就職支援センター」を拠点とした個別カウンセリングや就職支援セミナー等の実施	「京都市わかもの就職支援センター」の取組として、「京都市わかもの就職支援センター」を拠点に、市内中小企業の魅力発信から学生等の求職者と京都の中小企業との交流・マッチング支援、若手従業員の定着支援までを一貫して実施する。	E	—	個別カウンセリング、大学への出張形式を中心とした就職支援セミナー等を実施予定。	産業観光局	
				「京都市わかもの就職支援センター」によるインターンシップ事業の推進	「京都市わかもの就職支援センター」の取組として、低年次の学生を京都市わかもの支援センターがインターンシップ生として受入れ、わかもの視点で市内の中小企業を取材し、ウェブ発信することで、学生の中小企業に対する理解や職業観の醸成を図る。	E	—	低年次の学生を中心としたインターンシップ生を募集し、事前研修等を経て、カウンセラーがコーディネートしながら中小企業を取材、ウェブ発信の取組を進めていく。	産業観光局	
	①	京都市フルカバー学生等就職支援事業の推進		京都市フルカバー学生等就職支援事業	大学学等が提供するインターンシップ制度等の機会に恵まれない学生や既卒者等に対して、就職に向けた人材育成研修や個別キャリアカウンセリングを実施し、既卒者や大学生等の意識改革から就職までの支援を行う。	B	各種セミナー(春期・夏期集中セミナー、企業人との座談会、エントリー直前対策等)や個別カウンセリングを実施	「京都市フルカバー学生等就職支援事業」は平成27年度で終了したが、平成28年度からは「京都中小企業担い手確保・定着支援事業」の中で、人材育成の推進を進める。	産業観光局	
				(再掲)リ3-(2)		E	—	個別カウンセリング、大学への出張形式を中心とした就職支援セミナー等を実施予定。	産業観光局	

柱	項目	具体的な取組	事業名	事業概要	方向性分類	平成27年度実績	平成28年度計画	実施主体		
3	(1)	大学卒業後の多様な選択肢を描ける人財育成の推進	②	段階的に職業観を育むキャリア教育の推進	スチューデントシティ・ファイナンスパーク	施設内に再現した実際の「街」の中で、子どもたちが、接客や販売等、一人の大人として働くことや収入と支出を踏まえた生活設計の構築を通して、社会と自分の関わり、経済の仕組み、働くことの意義を学ぶ活動をしている。児童・生徒の活動にあたっては、市民、学生、保護者をはじめ企業・団体等のボランティアの協力を得て進めている。	B	今後も、産学公連携により、市民ボランティア、企業ボランティア等の協力を得て、事業の拡充を図る。 ・スチューデントシティ学習 実施校数 165校(全校実施) 参加児童数 10,358人 ・ファイナンスパーク学習 実施校数 59校 参加生徒数 5,867人	今後も、産学公連携により、市民ボランティア、企業ボランティア等の協力を得て、事業の拡充を図る。 ・スチューデントシティ学習 実施予定校数 164校(全校実施) 参加予定児童数 10,151人 ・ファイナンスパーク学習 実施予定校数 58校 参加予定生徒数 6,392人	教育委員会事務局
				生き方探究・チャレンジ体験推進事業	中学生が自ら学び、自ら考える力などの「生きる力」を身につけるとともに、集団や社会の一員としての自己の在り方と生き方を考えるきっかけを生み出すため、生徒の興味・関心に応じた勤労体験・職場体験、ボランティア体験などの社会体験活動を実施する。	B	実施校数…77校 参加生徒数…10,062名 受入事業所数…3,606箇所	実施予定校数…78校 参加予定生徒数…9,971名 受入予定事業所数…約3,700箇所	教育委員会事務局	
			③	大学コンソーシアム京都インターンシップの充実	大学コンソーシアム京都インターンシッププログラム	大学コンソーシアム京都が実施するインターンシッププログラムの実習生を受け入れる。	B	パブリックコース実習生受入 受入期間 8月17日～9月4日, 16職場, 18名	パブリックコース実習生受入 受入期間 8月15日～9月2日, 23職場, 27名	総合企画局
			④	RELEASE;	社会的課題に関心を持ち「何とかしたい」と考えている大学生や若者、新たな手法を模索する行政、社会貢献という視点で新たな事業展開を図る企業の3者が集い、意見交換会や現地調査等を経てビジネスアイデアを練り上げる。	B	平成27年8月8日に「RELEASE; KYOTO 2015」キックオフセッションを実施した。 その後、参加団体ごとにチームに分かれてビジネスアイデアの創出やブラッシュアップ等を行った。生み出されたアイデアの具体化として、平成27年11月から、IKEUCHI ORGANIC(株)から山科区の新生児に対してオーガニック・ベビーブランケットを無償提供する「イチバンボシギフト」を実施した。 参加者:延べ2,254人, 参加団体:3社	「RELEASE;」の充実を図り、大学生や若者と企業が社会的課題を解決するビジネスモデルを構築する。	産業観光局	
				京都市ソーシャルビジネス支援事業	まちづくりや商店街の振興、高齢者対策や子育て支援、環境保護対策など様々な社会に存在する課題(社会的課題)を継続的に収益を確保しつつ、解決していこうとする事業主体であるソーシャルビジネスが成長するための基盤を構築する。	B	「京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター構想」のもと、「これからの1000年を紡ぐ企業認定」の創設、社会的企業をトータルで育成する経営支援、イノベーションキュレーターの育成、ビジネスアイデア学習プログラム「RELEASE;」の充実、京都市ソーシャルイノベーション研究所の設置、ソーシャル・イノベーション・サミットの開催等を行った。	「京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター構想」の下、京都市ソーシャルイノベーション研究所を核として、「これからの1000年を紡ぐ企業認定」の運用、社会的企業をトータルで育成する経営支援、「イノベーションキュレーター」の育成、「RELEASE;」の充実、ソーシャル・イノベーション・サミットの開催等を行う。	産業観光局	
				ビジネス総合力養成講座『京都D-school』	京都地域における起業や新事業の創出を促進させ、地域産業や経済の活性化を図ることを目的に、主に京都市内の中小企業者を対象としたビジネス総合力養成講座を開催する。	B	平成27年度は全11日間のセミナーを開催した。 開催期間:平成27年7月11日～平成27年12月19日(平成27年6月20日はオープニングセッション, 平成28年1月16日は成果発表会)	平成28年度は全11日間のセミナーを開催 開催期間:平成28年4月23日～平成29年2月28日(平成28年4月23日はオープニングセッション, 平成29年3月18日は成果発表会)	産業観光局	
				京おんな塾	店舗開業や地域に密着したソーシャルビジネス等での起業を目指す女性を対象に、それぞれの夢の実現を目指すため、起業に必要な基礎知識を習得するための講義や、先輩起業家の体験談を聞くなどのカリキュラムを実施する。また、専門家に起業内容や起業方法のアドバイスを受けながら、自身のビジネスプランを構築する。	B	平成27年度は全6日間のセミナーを開催した。	引き続き、女性の起業を支援するためのセミナーを開催する。	産業観光局	
				京都スタートアップカレッジ	起業への関心がある学生や若手社会人から構成されるチームを対象に、起業、ソーシャルビジネス、エンジニア、ファイナンス等の各分野の専門家による講義及び指導等によるサポートのもと、グループワークでビジネスプランを発表するコンテストを行い、起業へつなげていく実践的なプログラムを実施する。	B	平成27年度は全6日間のセミナーを開催した。 (平成27年9月17日はオープニングセッション, 平成27年12月5日は成果発表会を開催)	引き続き、セミナーを開催する。	産業観光局	

柱	項目	具体的な取組	事業名	事業概要	方向性分類	平成27年度実績	平成28年度計画	実施主体			
	(2)	ニーズに対応した就業マッチングの促進		・京都企業・就業情報データベースシステムの運営 ・京都企業魅力発信「京のまち企業訪問」運営事業		B	・合同企業説明会を実施(2回) ・個別企業説明会を実施(37回) ・マッチング交流会を実施(3回) ・業界研究会を実施(1回)	平成28年度からは「京都中小企業担い手確保・定着支援事業」の中で、交流事業や合同企業説明会等の取組を進める。	産業観光局		
	(3)	進路カバーアップの推進		(再掲)推3-(1)-①		B	各種セミナー(春期・夏期集中セミナー、企業人との座談会、エントリー直前対策等)や個別カウンセリングを実施	「京都市フルカバー学生等就職支援事業」は平成27年度で終了したが、平成28年度からは「京都中小企業担い手確保・定着支援事業」の中で、人材育成の推進を進める。	産業観光局		
4	(1)	「京都発イノベーション」大学との連携によるものづくり技術の継承・発展	ア	「京都市成長産業創造センター」における産学共同研究プロジェクトの推進	京都市成長産業創造センターでの取組の推進		B	大学・研究機関、企業等の産学公が連携し、最先端の大学の技術シーズを着実に事業化につなげる研究プロジェクトを推進して、「グリーン・イノベーション」(環境エネルギー分野革新)と「ライフ・イノベーション」(医療・介護分野革新)を実現し、付加価値の高い高機能性化学品を生み出すとともに、その成果を地元の中堅企業に橋渡しすることにより、京都市域における産業競争力の確保と新規事業の創出を図る。 また、人材育成や産学公の交流の場を提供し、幅広い情報交流の促進と新たな連携の創出を図る。	・大学の最先端の研究成果を着実に事業化につなげる研究プロジェクトを推進した。 ・定期フォーラム(8月) ・入居者勉強会(8月、1月) ・2周年記念フォーラム(11月) 等	引き続き、大学の最先端の研究成果を着実に事業化につなげる研究プロジェクトを推進する。	産業観光局
			イ	「研究成果展開事業(スーパークラスタープログラム)」や「地域イノベーション戦略支援プログラム」における産学連携による環境分野の研究開発及び事業化の推進	地域イノベーション戦略支援プログラム	産学公連携のための大学等の機能強化、地域における産学公共同研究、地域の大学間ネットワークの形成、先端的な融合領域における研究開発拠点形成等を通じて、地域が主体的に実施するイノベーション創出のためのシステム整備を図ることを目的としたプログラムであり、知的財産の形成や人材育成など、地域の自立的・主体的な活動展開に対する支援を行う。	B	環境・エネルギー分野における産学公連携による事業化推進等を実施した。	引き続き、環境・エネルギー分野における産学公連携による事業化推進等を実施する。	産業観光局	
			エ	スーパークラスタープログラム	これまで各地域で取り組まれてきた地域科学技術振興施策の研究成果を活かしつつ、社会ニーズ、マーケットニーズに基づき国主導で選択と集中、ベストマッチを行い、国際競争力の高い広域連携による「スーパークラスター」を形成することを目的としている。さらに、本事業は10年程度を見通した将来ビジョンに基づき、成熟したコアクラスターの成果のうち、要素技術に留まっていた研究開発課題をサテライトクラスターとの連携により技術を高度化し、その基盤を一層強化するとともに、事業化の実現を図るため、産学の広域連携により取組を進める。	B	環境・エネルギー分野における産学公連携による事業化推進等を実施した。	引き続き、環境・エネルギー分野における産学公連携による事業化推進等を実施する。	産業観光局		
			ウ	京都産学公共同研究拠点「知恵の輪」における地域の大学との共同研究推進	地域産学官共同研究拠点整備事業	「京都バイオ産業創出支援プロジェクト」等による産学公のネットワークを生かし、酒造業界をはじめとする食品・試薬・計測機器等の産業に係る研究開発プロジェクトを推進する。	B	・高度研究機器を活用した大学等との共同プロジェクトを推進した。 ・先端研究機器に精通した高度技術者等の育成(人材育成セミナー等の実施) ・京都バイオ計測センターシンポジウムを開催(8月) 参加者:111人 ・ガラス先端加工に関するシンポジウムを開催(2月) 参加者:120人 ・先端光加工プロジェクト公開セミナーを開催(2回) 参加者:延べ37人	・高度研究機器を活用した大学等との共同プロジェクトを推進する。 ・先端研究機器に精通した高度技術者等の育成(人材育成セミナー等の実施) ・京都バイオ計測センターシンポジウムを開催予定 ・先端光加工プロジェクトセミナーを開催予定	産業観光局	

柱	項目	具体的な取組	事業名	事業概要	方向性分類	平成27年度実績	平成28年度計画	実施主体	
2)	「飛び出す大学」 大学と地域の連携・コーディネート の仕組みの充実	ア	京都市の部局や区役所と大学との協定締結による連携事業の推進		京都市と大学の連携事業を推進する。	B	平成28年3月現在、358件の協定を締結。	引き続き、大学と連携した取組の推進に努める。	総合企画局
		イ	地域による主体的なまちづくりを支援する「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」における大学・学生枠の設置などによる事業の推進	区民提案・共汗型まちづくり支援事業	柔軟で活気に満ちた若い力を地域の課題解決や地域活性化にいかすとともに、地域社会との関わりの中で得られる学びの機会を創出すること等を目的として、「区民提案型支援事業」に学生等への支援枠を設け、「共汗型事業」では学生をはじめとした若者と連携した事業を展開する。	B	地域と大学・学生が協力したことにより、地域の活性化や子育て支援、世代を超えた交流など様々な事業が行われた。 また、未来の地域の担い手となる人材や地域に関心を持つきっかけづくりの場を提供することができた。	引き続き実施する。	文化市民局
		ウ	地域活性化や課題解決に向けた大学と地域の一体的な取組を支援し、学生の学びの機会を創出する「学まちコラボ事業」の推進	大学地域連携創造・支援事業	魅力ある地域づくりや地域の課題解決に向けて、大学・学生と地域が一体となって取り組む事業を広く募集し、助成金を交付するとともに、他の地域のモデルとして応用、展開を図る。助成金額は1件につき30万円以内、10～15件程度を認定予定。	B	申請18事業のうち、14事業を採択し、事業を推進。未就学児とその親を対象とした音楽会・音楽ワークショップを実施し、親子が音楽を通じ、くつろぎながら合える場所を作る事業を優秀賞として表彰した。	申請のあった30事業に対し、選考を行い、10～15件程度の事業を採択し、事業を推進する。	総合企画局 大学コンソーシアム京都
		エ	京都の大学に設置された社会連携センター、地域連携センターなどのネットワークづくり、大学と地域とを繋ぐマッチング・コーディネート仕組みづくり	大学・地域連携サミット	大学コンソーシアム京都加盟校における地域連携の事例や、学まちコラボ事業等における大学・地域連携の事例を広く発信するとともに、地域連携活動に関わる学生、大学教職員、地域団体等が交流する機会として開催する。	E	—	平成28年11月に開催予定。	総合企画局 大学コンソーシアム京都
		オ	文部科学省「地(知)の拠点整備事業」採択校との連携と、今後申請する大学への助言・提案など支援の推進	地(知)の拠点大学による地方創生推進事業の採択大学・申請大学との連携	大学が企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先の創出をするとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取組を支援する。	B	・平成25年度に採択された京都大学、京都工芸繊維大学のCOC事業実行本部に参画。 ・市長が京都大学COC事業の「京都創造論」においてゲスト講義。	引き続き連携して事業を推進する。	総合企画局
					「学まち連携大学」促進事業	地域社会との関わりの中で得られる学生の学びと成長の機会を創出するため、ゼミ単位や学生グループの活動を支援する「学まちコラボ事業」で実施してきたものを、大学・短期大学を挙げた取組として発展させるべく、大学・短期大学を挙げた地域連携の取組を促し、支援する。	E	—	平成28年5月19日から平成28年7月15日までを期限として公募を開始。選定委員会による選考を行ったうえで、5件程度の事業を採択し、事業を推進する。
①	産学公連携コーディネート機能の向上	京都産学公連携機構	京都における産学公のあらゆる機関が相互に情報を共有しながら連携と協働を進めるための基盤として設立された「京都産学公連携機構」に分担金を支出するなど、同機構が実施する事業を支援する。	B	・総会の開催 ・文理融合・文系産学連携促進事業の実施(文理融合または文系分野の産学連携の取組に対し助成金を交付) ・社文系産学連携の創出の加速(大企業の開放特許を活用する社文系産学連携プロジェクトに取り組む大学のプロセス、情報を共有化) ・京都イノベーションベルト推進フォーラムの開催 ・産学連携コーディネータ交流会の開催 ・ホームページ、メールマガジン(随時)による情報発信 等	・総会の開催 ・文理融合・文系産学連携促進事業の実施(文理融合または文系分野の産学連携の取組に対し助成金を交付) ・社文系産学連携の創出の加速(大企業の開放特許を活用する社文系産学連携プロジェクトに取り組む大学のプロセス、情報を共有化) ・京都イノベーションベルト推進フォーラムの開催 ・産学連携コーディネータ交流会の開催 ・ホームページ、メールマガジン(随時)による情報発信 等	産業観光局		
		京都市ライフイノベーション創出支援センター	大学及び中小・ベンチャー企業等の技術シーズ、医療機関等のニーズの発掘に常時取り組むとともに、有望な研究テーマについては大学・企業等との連携の下、事業化に向けて、産学連携のコーディネート活動を行うほか、国等の研究開発プロジェクト等に位置付けられるよう伴走支援を行う。 大学発のシーズの事業化を進めるため、大学発ベンチャーの設立支援等も含め、発掘から事業化が見込める段階までの伴走支援を行う。	B	・コーディネーション活動については、センター長、コーディネーターを中心に活動 ・京都発革新的医療技術研究開発助成事業 応募 65件 採択 27件(6月) ・京都市ライフイノベーション創出支援センターセミナーを実施(5回) 参加者:延べ180人 ・京都市ライフイノベーション創出支援センターシンポジウムを実施(11月、2月) 参加者:延べ214人 ・社会人のためのバイオ入門講座を実施(4回) 参加者:延べ121人	・センター長、コーディネーターを中心にコーディネーション活動を実施 ・京都発革新的医療技術研究開発助成事業 応募 82件 採択 27件(5月) ・シンポジウムを実施予定 ・社会人のためのバイオ入門講座を実施予定	産業観光局		

柱	項目	具体的な取組	事業名	事業概要	方向性分類	平成27年度実績	平成28年度計画	実施主体	
4 大学との連携による京都の経済・文化・地域	(1) 産学公の連携による京都経済の活性化	② 文系学部と企業の連携強化	文理融合・文系産学連携促進事業	文理融合・文系分野において産学公連携により研究を推進するグループに助成金を交付することで、研究活動を支援し、研究開発プロジェクトや事業化へのステップアップを図る。	B	文理融合・文系産学連携促進事業の実施した(文理融合または文系分野の産学連携の取組に対し助成金を交付)。	引き続き、文理融合・文系産学連携促進事業の実施する(文理融合または文系分野の産学連携の取組に対し助成金を交付)。	産業観光局	
			京都観光経営学講座	他社・他地域に負けない個性を磨き上げるに必要な経営戦略、マーケティング、ICT戦略など、これからの観光経営に必要なノウハウを、観光業界で実際に働く社会人向けに、わかりやすく提供する。	B	平成27年度は、国内外の観光客に対する京都ならではのおもてなしの向上を図るため、「京都観光経営学講座」を更に進化・発展させ、経営分野に限らない多岐に渡る講座内容のリニューアルや履修証明書発行を行うなど、より質の高い人材育成講座を実施し、17名が受講した。	引き続き、経営分野に限らない多岐に渡る内容で、より質の高い人材育成講座を実施し、将来に渡って京都の観光業界を支え、観光立国・日本をけん引する高度な担い手を育成する。	産業観光局	
		③ 大学をいかした国内外コンベンションの誘致支援	京都市大規模国際コンベンション開催支援助成事業	本市への誘致が特に重要で意義があると判断される会議について、主催者に対する財政支援を行い、戦略的な誘致を強化する。 助成対象は、参加者が500名以上かつ参加国数が3箇国以上で参加者のうち海外参加者が100名以上の国際的な大規模会議。	B	第5回世界工学会議(300万円)、世界獣医麻酔会議(200万円)、第44回国際実験血液学会(150万円)の3件について助成した。	第20回均一系触媒国際会議(150万円)、世界考古学会議第8回大会(300万円)、第27回生体系磁気共鳴国際会議(250万円)、IAEA核融合エネルギー会議(250万円)、第9回環太平洋先端材料とプロセス(300万円)の5件について助成を予定している。	産業観光局	
			コンベンション推進事業	京都で開催される公共性の高い国際会議に支援を行うコンベンション受入支援事業。	B	第12回STSフォーラム(科学技術と人類の未来に関するフォーラム)開催を支援した。(600万円)	第13回STSフォーラム(科学技術と人類の未来に関するフォーラム)開催支援を予定している。(600万円)	産業観光局	
			大規模国際会議誘致助成事業	大規模国際会議の誘致に際し、広報宣伝などのプロモーション経費等を、京都での国際会議の開催を検討している各種団体等に助成金として支給し、国際MICE都市としての地位の更なる向上を目指す(助成金上限:1会議当たり100万円)。	B	大規模国際コンベンションを対象に、京都への会議の誘致に係る、広告宣伝費、印刷製本費、会場借上費等の経費を助成した。(3件、1,938,000円)	大規模国際コンベンションを対象に、京都への会議の誘致に係る、広告宣伝費、印刷製本費、会場借上費等の経費の助成を予定している。	産業観光局	
		④ 国内外の高度人材との交流の推進による新たな価値の創造の促進	京都・高度人材交流拠点構想(仮称)の策定	京都発の知的交流の場に国内外における世界トップレベルの優れた人材を呼び込み、新たなビジネスの創出や企業間のオープン・イノベーション、グローバル人材の育成、世界的な人的ネットワークの形成等を図る。	B	関係機関等と協議を行った。	引き続き、関係機関等と協議を行う。	産業観光局	
		(2) 教育・研究分野の新展開を目指す大学との連携強化			大学の教育・研究分野の新展開に関する情報を早い段階から共有し、京都市の施策との連携促進につなげる。	B	大学との情報共有、連携強化に努めた。	引き続き、大学との情報共有、連携強化に努める。	総合企画局
		(3) 地学公の連携による地域課題への対応	① 地域の問題解決につながる都市政策研究の推進	未来の京都創造研究事業	大学コンソーシアム京都と協働して、未来の京都づくりに向けた政策を立案するための調査・研究を実施するとともに、若手をはじめとした市政を支える研究者等の発掘・育成とネットワーク形成を図る。	A	以下の5件について研究を実施し、平成28年3月22日に研究成果報告会・交流会を実施し、ネットワークの形成を図った。 1)障がい者雇用を実現する持続可能な「食の経営」についての研究 2)自転車の走行環境整備における知覚心理学の活用についての研究 3)地域連携活動への参加が学生の意識に与える影響の分析に基づく効果的な大学・地域連携科目及び事業の開発に向けた研究 4)京町家における居住文化に対応した断熱改修手法に関する研究 5)京都市におけるまちの居場所運営の継続要因及び終了要因の抽出	当事業は開始から5年の平成27年度をもって終了した。 平成28年度からは、「大学の知を活かした多角的な市政研究事業」を新規に立ち上げる。	総合企画局 大学コンソーシアム京都
	大学の知を活かした多角的な市政研究事業			京都ならではの大学の知を、京都市の政策・施策に反映していくため、大学の研究グループからなるユニットを構築して多角的な観点から調査研究を行う(研究期間は2年を予定)。	E	—	事業実施に当たり、以下の点を検討中。 ・調査研究テーマ ・選考委員 ・募集要項、選考要領、スケジュール ・広報 等	総合企画局 大学コンソーシアム京都	

柱	項目	具体的な取組	事業名	事業概要	方向性分類	平成27年度実績	平成28年度計画	実施主体
の活性化 (推進施策)	(4) 小中高大(院)連携の推進	② 地学公連携の市民への周知	地域連携ウェブサイトの運営	大学の地域貢献や地域と大学との協働による事業を紹介する。	B	京都市からキャンパスプラザ京都の指定管理業務に移管し、大学コンソーシアム京都のホームページ上に「まちづくり事例集」を作成し、大学コンソーシアム京都加盟大学・短期大学の地域連携事例を掲載した。	引き続き、加盟大学・短期大学に事例の提供を依頼し、ホームページの情報更新を行う。	大学コンソーシアム京都
		① 高大連携の強化	京都の大学「学び」フォーラム	京都府内を中心とした高校1・2年生、ならびにその保護者を主な対象とし、当財団加盟大学・短期大学の特色ある模擬講義・体験型講座、大学生との交流企画、その他の企画等を通じて、大学での「学び」の魅力を積極的に伝え、高校生が自らの進路を考える機会を提供することで、高校生の学習意欲の喚起・進学意識の向上を目指すとともに、高等学校・大学の学びの円滑な接続に繋げることを目的に実施するもの。	A	キャリア意識醸成をさらに進めるため、キャリア講座や大学における研究成果の社会での活用事例を紹介する企画を実施するなど内容の充実を図り実施した。 開催日：平成27年10月25日(日) 会場：立命館大学 衣笠キャンパス 清心館・敬学館	京都の大学「学び」フォーラムについては、これまでの共同入試広報事業からキャリア教育を重視した事業へ転換するため、平成27年度をもって終了した。	大学コンソーシアム京都
		② 市立小中学校・高校と大学の連携強化	「学生ボランティア」学校サポート事業	「大学のまち・京都」の特性を活かし、大学との連携のもと、教職を目指す学生を中心としたボランティアを学校・幼稚園に派遣し、各教科やクラブ活動の指導補助などの様々な支援を行っている。一人一人の子どもに対するきめ細かな指導が充実し学校教育活動が一層活性化するとともに、教職を目指す学生の意欲・資質を高めることにより、将来の学校教育を担う教員の確保と養成に資する。	B	111大学・短期大学・専門学校と協定締結 219校 26,720回活動	大学との連携をさらに深めるとともに、各学校のニーズにあったボランティアの確保に向け、ポスターやチラシの配布等広報活動の充実にも努める。	教育委員会
		③ 産学公連携による京都市らしい教育システムの構築	京都教育懇話会	京都の産学公とメディアで組織され、次世代の教育についてのあり方、人材育成の方向性を模索し、先進的な取組を京都から全国へ発信していく。	B	・京都教育懇話会4回実施(予定) ・京都21世紀教育創造フォーラムの実施 ・高校生プレゼンコンテストの実施	・京都教育懇話会4回実施(予定) ・京都21世紀教育創造フォーラムの実施 ・高校生プレゼンコンテストの実施(予定)	教育委員会
			京都子どもモノづくり事業	「ものづくり都市・京都」の特性を生かし、産学公連携のもと、平成21年2月に生き方探究館内に開設した京都の企業創業者・科学者等の努力や情熱を紹介・展示する「京都モノづくりの殿堂・工房」での体験学習、「京少年モノづくり倶楽部」、「至高の動くおもちゃづくりトイ・コンテストグランプリ」などの事業を通じて、小中学生がモノづくりを学び・体験する機会を創出する。	B	・殿堂・工房学習の実施(5~3月)小151校142回・総支3校3回、9,296名参加。 ・殿堂の一般公開等に係る来館延べ3,241名。 ・京少年モノづくり倶楽部の実施(4月~3月)全71講座延べ2,298名参加。 ・第10回記念「至高の動くおもちゃづくり」トイ・コンテスト グランプリを開催(1月) 小114校910名参加。	・殿堂・工房学習の実施(5~3月)小160校154回・総支4校4回、10,273名参加予定 ・京少年少女モノづくり倶楽部の登録会員募集(5月~6月)、会員に京都市内各所で実施されるモノづくり講座等の情報を提供、約60講座実施予定。 ・第11回「至高の動くおもちゃづくり」トイ・コンテストグランプリを開催予定(1月)	教育委員会
		① 芸術系大学の集積をいかした芸術文化力の向上	駅ナカアートプロジェクト	京都市内の芸術系大学等と連携し、地下鉄駅に芸術系大学生の作品を展示する。	B	・京都精華大学・京都工芸繊維大学・京都府立大学・京都教育大学・京都女子大学・京都橘大学・京都造形芸術大学・京都市立芸術大学・京都嵯峨芸術大学が参加。 ・市バスアートの実施。 ・平成28年3月23日~5月31日実施。	平成29年3月頃から5月頃まで実施予定。	交通局
		② 歴史・文化の蓄積をいかした社会人向け学習機会の提供	京カレッジ	京都地域の大学・短期大学による大学講義、市民教養講座、キャリアアップ講座、京都力養成コースなどを市民の方も受講できる生涯学習事業。(平成9年度から(公財)大学コンソーシアム京都と共同で実施、平成19年度から京カレッジに改編)	B	・e-ラーニングを活用した科目の提供 ・事業の更なる充実・発展を目指し、科目のテーマ分類を再編し、大学講義の充実を図った。	・e-ラーニングを活用した科目の提供 ・市民が気軽に大学の公開講座に接する機会を創出し、生涯学習事業の新たな展開を促進するため「大学リレー講座」を新規開講する。	総合企画局
		③ 文化芸術教育プログラムの推進	Art-e Kyoto	芸術系5大学(京都嵯峨芸術大学、京都市立芸術大学、京都精華大学、京都造形芸術大学、成安造形大学)と京都市立小・中学校が、それぞれの教育資源を生かし、美術教育の充実や、芸術を大切に作る風土づくりを目指して連携を行う。	B	・京都芸術教育フォーラムの開催 ・連携協議会を5回開催 ・京都子どもアート探検ラリーを開催	・京都芸術教育フォーラムの開催 ・連携協議会を5回開催(予定) ・京都子どもアート探検ラリーを開催	教育委員会

柱	項目	具体的な取組	事業名	事業概要	方向性分類	平成27年度実績	平成28年度計画	実施主体
	(5) 大学をいかした芸術文化環境の向上	④ 若手芸術家・クリエイターの育成	東山アーティスト・プレイズメント・サービス(HAPS)	若手芸術家を対象に、既存の町家や倉庫、公的住宅、小学校跡地施設や公共空間等を利用して、若手芸術家が京都のまちなかに居住し、活動しつづけることができる環境を整え、新しい創作の活力をまちの活力につなげる。	A	①居住・制作支援事業 居住・制作スペースを必要とする芸術家と、空き家所有者とを結ぶマッチングを実施し、平成27年度居住実績は16件であった。 ②芸術家育成事業 第一線で活躍する芸術家、キュレーター等幅広い分野から講師を招き、芸術家として必要なスキルを学ぶ講座を実施した。 ③芸術家自立支援事業・情報発信事業 京都にいながら芸術家として活躍の場を国内外に広げる機会を提供するキュレーター招聘及びWebサイト上での情報発信を実施し、3名のキュレーターを招聘した。 ④相談対応 オフィスやウェブ上で芸術家や家主等の様々な相談に対応し、サポートを行った。 平成27年度の総相談件数は273件であった。	引き続き、若手芸術家を対象とした、居住・制作・発表の場を与えることのできる、京都のまちを活用した事業を実施する。	文化市民局
			京都版トキワ荘プロジェクト	京町家を活用して、安価なシェアハウスを漫画家志望者(含む学生)に提供したり、出張編集部やマンガ家向け講習会の開催等を通して、マンガ家志望者がプロとなっていきっかけを提供できるコミュニティ作りを行う。	B	・マンガ家志望者向けの人材育成拠点「京都版トキワ荘」の運営 拠点数(累計):5箇所 入居者(累計):13名 ・首都圏等からマンガ出版社を呼び、原稿を持ち込む機会を創出する「マンガ出張編集部(参加者数:314人、出展者数:24出版社、60編集部等)」などマンガ家志望者のスキルアップ支援を実施。	・マンガ家志望者向けの人材育成拠点「京都版トキワ荘」の運営 ・マンガ家志望者のスキルアップ支援	産業観光局
			京都学生祭典	大学の枠を越えた京都の学生の力を集約し、行政・経済界・大学界・地域社会と連携を図った上で「学生のまち・京都」を社会へ発信し、それに伴う京都全体への波及効果を創出することで京都中の活性化に繋げ、新しい魅力をこのまちに映し出すことをめざして活動を行う。	B	第13回を迎えた京都学生祭典は「京都があなたを魅了する」をコンセプトに、京都学生祭典がめざす「京都の活性化」に加え、「国際化」と「関係者数20万人」の2点をテーマに掲げて活動してきた。特に「国際化」では、国際化プロジェクトを立ち上げ、留学生との交流や連携団体を増やすことを通じて祭典内での国際理解を深められるよう努力した。祭典当日は、毎年恒例の「京炎 そでふれ! 全国おどりコンテスト」や「げんきっずスタジアム2015」、「縁日企画」から新企画のトリックアートの展示など全7企画を展開。留学生と共同で制作した灯籠の設置や民族衣装のファッションショーを行うなど「国際化」を体系化した。 《日時》 平成27年10月11日(日) 11:00~19:00 《会場》 平安神宮前・岡崎プロムナード(京都市左京区) 《来場者数》 約14万4,000人(実行委員会調べ)	「学生による京都四大祭りへの挑戦」をテーマに、第14回京都学生祭典を開催する。京都学生祭典の理念である「学生の力を遺憾なく発揮」出来るような場・機会をより多く学生に提供することをめざし、「あなたに贈る、学生が本気で輝く晴れ舞台」を企画コンセプトとして、ファッションやアートなど芸術系分野を含めた様々な分野の学生にも今まで以上に参加できるよう趣向を凝らす。 《日時》 平成28年10月9日(日) 11:00~19:00 《会場》 平安神宮前・岡崎プロムナード(京都市左京区) 《企画内容》 ①京炎 そでふれ! 全国おどりコンテスト ②ファッション企画 ③音楽企画 ④縁日企画 ⑤こども企画 ⑥ブース企画 ⑦京炎みこしパレード 等	大学コンソーシアム京都
5 学生が持つエネルギーをいかした京都力の強化(リーディング施策)	(1) 「一人一人が輝く」学生の主体的活動の促進	ア 京都学生祭典、京都国際学生映画祭など、学生が主体となって運営する活動の支援	京都国際学生映画祭	上映機会の少ない学生が制作した自主映画を世界各地より集め、上映する機会を学生が創り出すことを通じて、学生が成長する機会を創出し続け、人生を変える程の気づきを与える事業。	B	第18回京都国際学生映画祭を平成27年11月21日(土)から27日(金)までの7日間、京都シネマ(京都市下京区)で開催した。第18回の映画祭には、実写部門で国内127件、海外112件、アニメーション部門で国内33件 海外32件の計304件(国内160件、海外144件)の応募があり、映画祭では最終選考を経た15作品(実写8作品、アニメ7作品)を上映し、各部門と最終審査員賞、観客賞の発表と表彰式を行った。映画祭の来場者は延べ 591名(13プログラム合計、実行委員会調べ)。	京都から学生映画監督の発掘、映画文化の発信、映画を通じた国際交流の創出を目的に、第19回京都国際学生映画祭を開催する。映画祭の企画運営は、学生による実行委員会が担う。コンペティションを3月から5月に行い、最終審査を経て上映会、表彰式を催す。 《開催日》 平成28年11月26日(土)~12月2日(金) 《会場》 京都シネマ(京都市下京区・COCON烏丸3F)	大学コンソーシアム京都

柱	項目	具体的な取組	事業名	事業概要	方向性分類	平成27年度実績	平成28年度計画	実施主体	
		学生や学生グループの活動を支援する「輝く学生応援プロジェクト」の充実	輝く学生応援プロジェクト	学生が大学の枠を超えて行う、京都のまちの活性化につながる活動に対し、総合的な支援を行う。 ・ミーティングブースや、活動に必要な備品等の貸し出し。 ・活動に資する様々な情報や市政情報等を提供するとともに、学生の活動内容を掲示するなど情報発信を行う。また、活動する学生が交流する機会の提供や助言、相談を行う。 ・学生の活動と地域のニーズとのマッチング、連携を支援する。(むすぶネット)	C	事業概要に記載の取組等により、学生が大学の枠を超えて行う、京都のまちの活性化につながる活動に対し、総合的な支援を行うとともに、「学生ボランティアチャレンジ」については、年1回から年2回の募集を増やして実施した。	引き続き、学生が大学の枠を超えて行う、京都のまちの活性化につながる活動に対し、総合的な支援を行うとともに、「学生ボランティアチャレンジ」については、募集定員を2倍に増やして実施する。	総合企画局	
5	学生が持つエネルギーをいかした京都力の強化(推進施策)	(1) 学生の活動を促進する仕組みの充実	① 学生が活動するフィールドの拡充	(再掲)リ4-(2)-ウ	B	申請18事業のうち、14事業を採択し、事業を推進。未就学児とその親を対象とした音楽会・音楽ワークショップを実施し、親子が音楽を通じ、くつろぎながらあえる場所を作る事業を優秀賞として表彰した。	申請のあった30事業に対し、選考を行い、10~15件程度の事業を採択し、事業を推進する。	総合企画局 大学コンソーシアム京都	
				(再掲)推4-(3)-②	B	京都市からキャンパスプラザ京都の指定管理業務に移管し、大学コンソーシアム京都のホームページ上に「まちづくり事例集」を作成し、大学コンソーシアム京都加盟大学・短期大学の地域連携事例を掲載した。	引き続き、加盟大学・短期大学に事例の提供を依頼し、ホームページの情報更新を行う。	大学コンソーシアム京都	
			② 学生の市政への参画の促進	青少年モニター制度について	B	「青少年モニター」の募集を行い、市政の幅広い分野において、意見募集を行い、「青少年が市政やまちづくりに参加する機会を増やし、社会への参加意識を高めるとともに、青少年の視点と意見を市政に反映させる。	登録:33名 アンケート:2回実施(2テーマ) ワークショップ:2回実施(1テーマ)	引き続き実施する。	文化市民局
				政策系大学・大学院研究交流大会	B	本財団加盟大学の都市政策を学ぶ大学生・大学院生が中心となって、日頃の研究や学習の成果の発表を通じて交流を深めるとともに、地域社会に対して政策提案、情報発信の場となることを目的としている。	第11回京都から発信する政策研究交流大会 開催日程:平成27年12月6日(日)10時~18時 場所:キャンパスプラザ京都 発表数:計79組(口頭発表65組, パネル発表14組)	第12回大会を平成28年12月に開催する。	大学コンソーシアム京都
		① 防災, 安心・安全の取組	京都学生消防サポーター	B	市内の大学・短大生等を対象に防火・防災研修を行うとともに、一定の知識・技能を有すると認められた者に「京都学生消防サポーターライセンス」を付与することにより、学生のまち・京都ならではの特性をいかして地域防災力の向上を図る。	1 登録者総数 255名 2 活動回数/延べ人数 79回/483名 3 主な活動 ・研修活動 (基礎研修, 応急手当普及員講習, 追加研修, 災害ボランティアセンター講座, 京都大学防災研究所における防災研修等) ・実践活動 (京都市消防出初式, 市・区・学区防災訓練, 祇園祭及び京都マラソンにおける消防警備, 市内各消防署が行う普通救命講習指導等) ・自主活動 (上京区減災力向上推進プロジェクトへの参画)	・学生に対する防火防災研修の実施及びライセンスの付与(研修後に効果測定を実施し、一定の知識及び技能を取得したと認められた者にライセンスを付与する。) ・京都学生消防サポーターライセンス制度の導入(ライセンス取得者に対し、防火・防災に関する情報その他活動に必要な情報を提供する。)	消防局	
				学生防犯ボランティアへの支援	B	「互いに助け合う、犯罪や事故が少ないまち」を目指し、大学生への支援と連携を進めるため、学生防犯ボランティア「ロックモンキーズ」への支援などを行う。 ※学生防犯ボランティア「ロックモンキーズ」自主防犯活動への参加を希望する大学生を対象に、京都府警察が設けた学生ボランティア登録制度	学生防犯ボランティア「ロックモンキーズ」に対して、防犯パトロールなどの学生防犯活動に対して補助金を交付するなど、大学生との支援と連携を進めた。	引き続き、学生防犯ボランティア「ロックモンキーズ」に対して、防犯パトロールなどの学生防犯活動に対して補助金を交付するなど、大学生との支援と連携を進める。	文化市民局
			② 環境にやさしい取組	「DO YOU KYOTO?」プロジェクトと「KYO-SENSE」プロジェクトの連携	B	京都学生祭典において、平成20年度に発足した京都に古くから伝わる伝統的な知恵を現代に生きる若者の感性で学び直し、新しいライフスタイルの提案を目指すプロジェクトと、地球温暖化対策室や循環型社会推進部が連携した取組を行う。	・地域の環境問題に取り組む打ち水活動(8月@三条・平安神宮) ・地域の美化を目指したクリーンアップ活動(月2回程度) ・DO YOU KYOTO? ホームページをリニューアルし、大学生のエコなライフスタイルに関するページを設け、普及促進を図った。	ライフスタイルに関し、引き続き関係機関との連携も含め実施することとする。	大学コンソーシアム京都 環境政策局

柱	項目	具体的な取組	事業名	事業概要	方向性分類	平成27年度実績	平成28年度計画	実施主体	
	(2)	テーマごとの学生の活動の促進	③ コミュニティの活性化	京都学生祭典実行委員会による夜警活動	毎月5日・20日に岡崎・梅逕地域の夜間パトロールに参加。地域・消防分団と一緒に地域の安全に貢献している。地域との交流を深め、本祭への協力を図る。	B	毎月5日・20日に岡崎・梅逕地域の夜間パトロールに参加し、地域・消防分団と一緒に地域の安全に貢献している。それにより地域との交流を深め、本祭への来場にもつながった。	今年度も毎月5日・20日に岡崎・梅逕地域の夜間パトロールに参加し、地域・消防分団と一緒に地域の安全に貢献することで地域との交流を深め、本祭への協力につなげる。	大学コンソーシアム京都
				自治会等への加入促進 (きょうと地域力アップ貢献事業者等表彰)	自治会・町内会等を中心とする多様な主体の連携による地域コミュニティ活性化への取組を一層推進することを目的に、自治会・町内会等の地域団体が主体となって取り組む地域活動に関して、これと連携・協力し、地域力の向上に貢献している事業者、NPO法人、大学等を顕彰し、自治会・町内会等を中心とする多様な主体の連携による地域コミュニティ活性化への取組を一層推進する。	B	表彰対象者を募集し、表彰式を実施した。	引き続き、表彰対象者を募集し、表彰式を実施する。	文化市民局
				自治会等への加入促進 (大学・専修学校新入生向けチラシの配布)	大学・専修学校への入学生に対し、自治会・町内会への加入促進、地域活動への参加をはじめ、選挙権年齢引下げに伴う住民票の異動等と呼び掛けるチラシを配布する。	B	—	平成28年4月に、市内の大学、専修学校新入生向けのチラシを、各校を通じて配布した。	文化市民局
				京都学生祭典実行委員会による地域活性プロジェクト	京都学生祭典と地域活性をめざす行政や地域団体が連携し、京都学生祭典の理念である地域の活性化を実現する。連携団体やプロジェクトについては公募で募集し、京都学生祭典のイベントとして取り組む。	E	—	Part.1「京都学生祭典イベントin伏見」 【開催日時】平成28年5月21日(土)10:00~16:00 【開催場所】伏見港公園、伏見大手筋商店街 【連携先】公益財団法人京都府公園公社 伏見港公園管理事務所、伏見大手筋商店街振興組合、京阪電気鉄道株式会社 Part.2「京都学生祭典イベントin出町柳」 【開催日時】平成28年7月9日(土)11:30~17:00 ※7月8・9日18:00~22:00、出町柳形商店街にて七夕夜市開催。 【開催場所】出町柳形商店街、下鴨神社、鴨川公園一帯(案)、京阪本線貸切列車内 【連携先】出町柳形商店街振興組合、京阪電気鉄道株式会社	大学コンソーシアム京都
				(再掲)推2-(2)-②	B	補助対象者の拡大及び「特定目的活用支援タイプ」の補助対象建築物の要件を緩和など、より利用しやすい制度とするための制度の見直しを行った。	引き続き、補助申請を募集する。(4月6日から申請受付を開始)	都市計画局	
6	プロモーション戦略の強化 (リーディング施策)	(1)	ア	民間旅行事業者との連携による、大学生が修学旅行生などを案内するキャンパスツアーの実施	街全体がキャンパス 学びの都 京都B&Sプロジェクト	B	民間旅行事業者と連携して大学生が修学旅行生などを案内する京都観光&キャンパスツアーを実施した。 ・参加数 21校 2,630人(中学校16校、高校5校) ・全国の中学校・高等学校延べ5,277校へDM発送	引き続き、民間旅行事業者と連携して大学生が修学旅行生などを案内する京都観光&キャンパスツアーを実施する。	産業観光局 大学コンソーシアム京都
				PR戦略と連動した、学生が主体となった効果的な広報手法の検討	京都学生広報部	B	平成27年9月1日に京都学生広報部の結団式を行い、12大学60名でスタートし、同年10月1日よりウェブサイト「コトカレ」リリース。大学生の目線で書かれた記事を掲載。平成28年3月31日までの累計PVは75,210。	引き続き、京都の大学生による全国の中高生に向けた記事の掲載を行っていく。	総合企画局 大学コンソーシアム京都
				日本人学生や留学生などの対象ごと、関西・関西以外などの地域ごとのアンケートやヒアリングなどによる学生の意向・ニーズ調査の実施	大学のまち京都・学生のまち京都推進会議プロモーション専門部会	A	—	「大学のまち京都・学生のまち京都」の魅力を再検証するとともに、効果的なPRや広報活動につなげるため、必要な取組等を具体的に検討する。	総合企画局 大学コンソーシアム京都

柱	項目	具体的な取組	事業名	事業概要	方向性分類	平成27年度実績	平成28年度計画	実施主体		
	(2)	「大学のまち京都・学生のまち京都」PR戦略の構築	イ	各大学の海外協定校や交換留学実績などの基礎データの調査・分析による海外PRに関する大学ニーズ(PRの対象国など)の把握	(再掲)推2-(1)	B	留学生スタディ京都ネットワークにおいて、国別の日本留学生数や、日本語学習者数、各大学の海外向けPRのニーズ等を踏まえながら検討した。	留学生スタディ京都ネットワークにおいて、大学、日本語学校、専修学校や、民間企業との関係者を含む留学生誘致プロモーション方針を検討するワーキングを設置し、重点的な国・地域、ターゲット学生の属性、効果的なプロモーション方法などの具体化を進める。	総合企画局 大学コンソーシアム京都	
			ウ	大学のまち京都・学生のまち京都推進会議のプロモーション検討専門部会(仮称・新設)での戦略的なPR手法の検討	大学のまち京都・学生のまち京都推進会議プロモーション専門部会	「大学のまち京都・学生のまち京都」の魅力を再検証するとともに、効果的なPRや広報活動につなげるため、必要な取組等を具体的に検討する。	A	—	—	総合企画局
6	(1)	「大学のまち京都・学生のまち京都」の中学生・高校生などへの発信	①	中学生・高校生、保護者への広報の強化	(再掲)推4-(4)-①	A	キャリア意識醸成を更に進めるため、キャリア講座や大学における研究成果の社会での活用事例を紹介するなど、内容の充実を図り実施した。 開催日：平成27年10月25日(日) 会場：立命館大学 衣笠キャンパス 清心館・敬学館	京都の大学「学び」フォーラムについては、これまでの共同入試広報事業からキャリア教育を重視した事業へ転換するため、平成27年度をもって終了した。	大学コンソーシアム京都	
					(再掲)リ6-(1)-イ	B	平成27年9月1日に京都学生広報部の結団式を行い、12大学60名でスタートし、同年10月1日よりウェブサイト「コトカレ」リリース。大学生の目線で書かれた記事を掲載。平成28年3月31日までの累計PVは75,210。	引き続き、京都の大学生による全国の中高生に向けた記事の掲載を行っていく。	総合企画局 大学コンソーシアム京都	
			②	修学旅行の誘致・受入体制の充実	きょうと修学旅行ナビの運営	テーマ別モデルコースの紹介や、地図から観光地が簡単に探せるきょうとエリアマップなどにより京都への修学旅行をサポートするウェブサイト。	B	京都市内班別自主行動のコースづくり等の事前学習の充実を図るため、きょうと修学旅行ナビを運営した。 ・アクセス数(平成27年度) 323万件	近年主流の京都市内班別自主行動のコースづくり等の事前学習の充実を図るため、きょうと修学旅行ナビを運営する。	産業観光局
	(2)	現役・OBの学生・留学生などによる京都生活の発信	①	京都で学ぶ大学生やOB・OGによる情報発信	(再掲)リ6-(1)-イ	E	—	京都の大学出身で、様々な分野で活躍している方を取材して記事を作成し、コトカレに掲載する。	総合企画局 大学コンソーシアム京都	
					学生のみち京都 映像コンテスト - 京都で学ぶ、京都に馴染む -	「学生のみち京都」の魅力をアピールするとともに、地域発のデジタルコンテンツの流通促進、人材育成に寄与することを目的に「学生のみち京都映像コンテスト」を実施。	E	—	募集期間：8月1日(月)～10月28日(金) テーマ：「京都で学ぶ、京都に馴染む」京都で学ぶ(先人、伝統、文化、歴史、技術、大学)魅力や京都のみちや人との交わりなどが多彩なイメージの作品を募集。	総合企画局 大学コンソーシアム京都
			②	留学生や留学生OB・OGネットワークの活用	留学生PRチーム設置	京都で学ぶ現役留学生で構成するPRチームを創設し、出身国等における日本留学関連の情報収集、京都の留学情報の現地向け発信を行う。	C	留学生スタディ京都ネットワークにおいて、3箇国(中国、タイ、アメリカ)から留学生を公募し、8名に委嘱し、各国における日本留学関連の情報収集のほか、フェイスブック等により、京都の留学情報の現地向け発信等を行った。	留学生スタディ京都ネットワークにおいて、4箇国(韓国、台湾、ベトナム、インドネシア)を追加で公募し、新たに4名を委嘱(現在9名)	総合企画局 大学コンソーシアム京都
					(再掲)推2-(2)-④	D	フェイスブックを活用した日本語・英語による情報発信を実施した。	引き続き、フェイスブックを活用した日本語・英語による情報発信を実施する。	総合企画局	
	③	大学・市民向け広報の充実	①	大学・学生向け広報の充実	出前トーク等による大学講義	市民の身近な場所に直接出向いて市政についての説明を行い、市政に関する理解を深めていただくとともに、これからのまちづくりについて共に考えるきっかけを作ることを目的に市政出前トークを実施しており、大学の講義でも活用されている。	B	大学からの依頼に応じて、テーマ毎に所管部局と調整のうえ、大学の講義に出講している。	引き続き実施する。	総合企画局
					②	市民向け広報の充実	(再掲)推4-(3)-②	B	京都市からキャンパスプラザ京都の指定管理業務に移管し、大学コンソーシアム京都のホームページ上に「まちづくり事例集」を作成し、大学コンソーシアム京都加盟大学・短期大学の地域連携事例を掲載した。	引き続き、加盟大学・短期大学に事例の提供を依頼し、ホームページの情報更新を行う。